

# 教育方法論（幼稚園）

## 概要

これからの教育に求められる、教育方法について、保育形態からみた教育の実践のあり方を学ぶ。さらに、パソコンを利用した資料作成を通して、子どもの姿からの育ちの読み取りと保育者の意図の伝え方などを学ぶ。

担当教員	奥田美由紀 他
授業形態	講義
学期	前期
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育2年生
時間数	90分×15回
単位数	2

## 目標

授業ならびに学級経営で必要とされる種々のリテラシーを身につけることができる。  
子どもの姿からの育ちの読み取りと保育者の意図を言語化することができる。

## 各回の内容

1. オリエンテーション
2. 教育（保育）方法の変遷
3. 教育（保育）形態からみた教育実践
4. 教育（保育）形態からみた教育実践
5. 教育（保育）形態からみた教育実践
6. 教育実習の事例からみる教育方法
7. 教育実習の事例からみる教育方法
8. 幼児教育における教材研究の実際
9. 幼児教育における教材研究の実際
10. 幼児教育における教材研究の実際
11. 連絡帳・おたより作成（子どもの姿の記録）
12. おたより作成（子どもの育ちの読み取り）
13. おたより作成（保護者へ伝えたいこと）
14. 保育者の教育的意図と教育方法
15. まとめ

## 準備学習

エクセル、ワード、インターネット検索の操作に習熟しておく。  
幼稚園・保育園で作成されるおたよりなどに関心を持ち見ておく。

## 評価方法

提出作品	50%
レポート	50%

## 教科書

なし

## 参考文献

随時紹介する

# 教育相談（幼稚園）

## 概要

ワークショップ形式による事例検討を交えつつ、教育相談概論、相談技法、発達理論、連携支援等について実践的な理解を深めていく。

担当教員	後藤 真
授業形態	講義
学期	前期
必修・選択の別	必修
対象学生	ことも保育コース2年
時間数	90分×15回
単位数	2

## 目標

教育相談の理論を正しく理解した上で、基本的な相談技法を用いることができる。また、子どもを取り巻く状況を、個人・家庭・社会といった多角的な視点から把握し、事例を詳細に読み解くことができる。

## 各回の内容

1. 導入
2. 子どもを取り巻く環境と現状
3. 教育相談概論
4. 教育相談の技法
5. 相談者としての自己分析
6. 演習：関係性の構築
7. 構成的グループエンカウンター：セルフケアについて
8. ライフサイクルにおける幼児期：「問題」に対する包括的理解と対応
9. 教育相談のプロセス
10. 演習：事例検討
11. 演習：事例検討
12. 演習：事例検討
13. 連携支援：職場内連携と社会資源の有効活用
14. 構成的グループエンカウンター：スーパービジョンについて
15. 教育相談における自己洞察

## 準備学習

授業で配布される自主学習ワークシートに取り組む。また、関連するニュースに関心を持つ。

## 評価方法

授業レビューシート40%、中間レポート30%、期末レポート30%

## 教科書

なし

## 参考文献

その都度、授業で紹介する

# 幼稚園教育実習

## 概要

幼稚園教育実習は「幼稚園教育実習」の観察参加実習の次の段階として位置づけられる。幼稚園教育実習では、責任実習（部分実習、全日実習）を行うことにより、子どもへの理解をさらに深める。また責任実習を経験することにより、幼稚園教諭の役割、幼児教育の目標、幼児の生活、保育内容への理解、家庭教育支援に繋がる保育者の援助などを体験的に学ぶ。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	集中
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース2年
時間数	15日間
単位数	3

## 目標

実習を通して指導教諭の実習指導のもと、実際に保育を行い、幼稚園教諭として必要な資質、能力、技術を習得する。

## 各回の内容

- 
1. 5月に実習園において15日間、保育活動に主体的にかかわりながら実習を行う。
- 

## 準備学習

指導案を作成し、教材等の準備をする。

## 評価方法

実習先の評価70%、実習日誌の記録内容30%

## 教科書

なし

## 参考文献

なし